

漢文『諸子百家』100題ドリル 解答編

無料ダウンロード(縦書き・印刷可)

- Q1. 答え：孔子 解説：その言行は弟子たちによって『論語』にまとめられた。儒家のすべての出発点となる人物。
- Q2. 答え：儒家 解説：孟子・荀子へと受けつがれ、後に中国の正統思想となった。
- Q3. 答え：孟子 解説：「孔子に次ぐ人」として亜聖と呼ばれる。王道政治も説いた。
- Q4. 答え：荀子 解説：だからこそ後天的な教育と「礼」によって人を正すべきだと説いた。
- Q5. 答え：老子 解説：その教えは『老子』（『道德経』）にまとめられたと伝えられる。
- Q6. 答え：莊子 解説：老子とあわせて「老莊思想」と呼ばれる。「胡蝶の夢」の説話でも有名。
- Q7. 答え：道家 解説：人為的な道德や制度を否定し、あるがままを尊んだ点で儒家と対照的。
- Q8. 答え：韓非子 解説：その思想は『韓非子』にまとめられ、秦の統一政策に大きな影響を与えた。
- Q9. 答え：法家 解説：韓非子が大成し、商鞅・李斯らが実際の政治で実践した。
- Q10. 答え：墨子 解説：その学派は墨家と呼ばれ、儒家を強く批判したことでも知られる。
- Q11. 答え：墨家 解説：規律の厳しい集団としても知られ、儒家と並ぶ有力学派だった。
- Q12. 答え：孫子（孫武） 解説：兵法書『孫子』は後世まで広く読まれ、現代の経営などにも応用される。

- Q13. 答え：兵家 解説：乱世にあつて、いかに戦い勝つかを実践的に論じた。
- Q14. 答え：公孫竜 解説：ことばと事物の関係を論じ、論理や詭弁を扱う名家の中心人物。
- Q15. 答え：名家 解説：「白馬非馬」のような議論で知られ、論理的な性格を持つ。
- Q16. 答え：蘇秦 解説：合従策によつて一時は秦の進出をおさえた。
- Q17. 答え：張儀 解説：秦の宰相となり、合従を切りくずして秦の勢力拡大を助けた。
- Q18. 答え：縦横家 解説：「合従」「連衡」という外交戦略で戦国の世を渡り歩いた。
- Q19. 答え：鄒衍 解説：自然界の法則によつて人間世界の盛衰を説明しようとした。
- Q20. 答え：陰陽家 解説：後の暦・占い・五行説などに大きな影響を与えた。
- Q21. 答え：許行 解説：身分にかかわらず自分で耕すことで万民は平等になると主張した。
- Q22. 答え：農家 解説：「農」を国の基礎と考え、生産に従事することを重んじた。
- Q23. 答え：呂不韋 解説：その書はさまざまな学派の説を取り入れた雑家の代表的著作。
- Q24. 答え：雑家 解説：『呂氏春秋』はその代表作で、儒家・道家・法家などの説を集めている。
- Q25. 答え：商鞅 解説：信賞必罰の法治を断行したが、孝公の死後に失脚した。
- Q26. 答え：李斯 解説：書物を焼く「焚書」を始皇帝に進言した人物として知られる。厳しい思想統制を主導した。

- Q27. 答え：恵施 解説：荘子の友人としても知られ、論理的な議論を好んだ。
- Q28. 答え：呉子（呉起） 解説：『呉子』は『孫子』と並ぶ代表的な兵法書とされる。
- Q29. 答え：諸子百家 解説：「諸子」は多くの先生、「百家」は多くの学派の意。儒家・道家・法家などを含む。
- Q30. 答え：春秋・戦国時代 解説：実力主義の乱世だったからこそ、多様な思想が開いた。
- Q31. 答え：仁 解説：孔子の思想の中心で、人と人との愛情を基礎とする。
- Q32. 答え：礼 解説：孔子は「仁」と「礼」を一体のものとして重んじた。
- Q33. 答え：性善説 解説：荀子の「性悪説」と対比して問われることが多い。
- Q34. 答え：性悪説 解説：孟子の「性善説」と正反対の立場。礼による矯正を重んじる。
- Q35. 答え：四端 解説：これらを育てると、仁・義・礼・智の「四徳」になるとした。
- Q36. 答え：惻隠の心 解説：「惻隠の心は仁の端なり」と説かれる。四端の代表格。
- Q37. 答え：羞惡の心 解説：四端の一つで、正義感のもとになる心。
- Q38. 答え：辞讓の心 解説：「恭敬の心」とも言われる。礼儀のもととなる心。
- Q39. 答え：是非の心 解説：四端の一つで、判断力・知恵のもととなる心。
- Q40. 答え：四徳 解説：孟子は、四端を伸ばせば誰でもこの四徳を身につけられると説いた。

- Q41. 答え：王道 解説：力でおさえる「霸道」と対比される。徳による政治を理想とした。
- Q42. 答え：霸道 解説：孟子はこれを退け、徳による「王道」を理想とした。
- Q43. 答え：易姓革命 解説：「天命」の考えにもとづき、悪政の君主は天によって退けられるとする（語自体は後世に定着）。
- Q44. 答え：道 解説：ことばで言い表せない根源的なものとされ、道家の名の由来でもある。
- Q45. 答え：無為自然 解説：作為やはからいを捨てることを理想とする、道家の中心思想。
- Q46. 答え：万物斉同 解説：善悪・大小・是非などの対立をこえる立場。荘子思想の核心。
- Q47. 答え：逍遙遊 解説：『荘子』の最初の編の名でもあり、絶対的な自由を表す。
- Q48. 答え：胡蝶の夢 解説：自分が蝶の夢を見たのか、蝶が自分の夢を見ているのか分からないと説いた。
- Q49. 答え：兼愛 解説：家族や身内を重んじる儒家の「仁」を、身びいきだと批判した。
- Q50. 答え：非攻 解説：「兼愛」とならば墨家の中心主張。ただし防衛戦は否定しなかった。
- Q51. 答え：尚賢 解説：身分よりも能力を重んじる主張で、当時としては革新的だった。
- Q52. 答え：節用 解説：はなやかな儀礼や浪費を退け、実用を重んじた。
- Q53. 答え：法 解説：「術」「勢」とともに法家思想の柱。だれにも公平に適用される。
- Q54. 答え：術 解説：「法」「勢」とともに韓非子が説いた、君主の支配の技術。

- Q55. 答え：勢 解説：「法」「術」とあわせて、君主の支配を支える二本柱とされる。
- Q56. 答え：聖人（君子） 解説：孟子は、だれでも努力すれば聖人に近づけると説いた。
- Q57. 答え：韓非子 解説：法家を大成した思想家。性悪説に立つ荀子の影響を受けた。
- Q58. 答え：孟子 解説：これらはいずれも孟子の代表的な主張。セットで覚えたい。
- Q59. 答え：荀子 解説：弟子に韓非子・李斯がおり、法家の思想にも影響を与えた。
- Q60. 答え：墨子 解説：これらはいずれも墨家の代表的主張。儒家と対立した。
- Q61. 答え：老子 解説：実在の人物かどうかには諸説あるが、道家の祖と伝えられる。
- Q62. 答え：荘子 解説：老子の思想を発展させ、絶対的な自由の境地を説いた。
- Q63. 答え：蘇秦 解説：合従は「南北に連合する」意。秦に対抗する六国の同盟策。
- Q64. 答え：張儀 解説：連衡は「横に連ねる」意。各国を秦と個別に結びさせる策。
- Q65. 答え：合従（合従策） 解説：「従（縦）」は南北の意。連衡と対にして覚えるとよい。
- Q66. 答え：連衡（連衡策） 解説：合従をくずすための策。「合従連衡」と四字熟語にもなった。
- Q67. 答え：白馬非馬 解説：「白馬」と「馬」は概念が違うとする論で、名家の論理を象徴する。
- Q68. 答え：論語 解説：「子曰く（し、いわく）」で始まる章句で有名。儒家の根本経典。

- Q69. 答え：孟子 解説：書名と人物名が同じなので、文脈で区別する。儒教の重要経典の一つ。
- Q70. 答え：荀子 解説：「学を勧める」内容（勸学）でも知られる。
- Q71. 答え：老子 解説：「道」と「徳」を説くことから『道德経』の名がある。
- Q72. 答え：荘子 解説：寓話（たとえ話）を多く用いて、万物斉同や自由の境地を説く。
- Q73. 答え：韓非子 解説：「矛盾」の故事もこの書に由来する。法家を代表する書物。
- Q74. 答え：墨子 解説：論理的・実用的な記述が多く、防御の技術なども含む。
- Q75. 答え：孫子 解説：「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」などの名句で知られる。
- Q76. 答え：呂氏春秋 解説：「一字千金」の故事の由来となった書物。
- Q77. 答え：一字千金 解説：呂不韋が「一字でも直せたら千金を与える」と公言した故事から。
- Q78. 答え：矛盾 解説：どんな盾も突き通す矛と、どんな矛も防ぐ盾を同時に売った商人の話から。
- Q79. 答え：彼を知り己を知れば百戦殆うからず 解説：情報の重要性を説いた、兵法の代表的名句。
- Q80. 答え：己の欲せざる所は人に施すこと勿かれ 解説：『論語』にあることばで、「仁」を実践する心がまえを示す。
- Q81. 答え：韓非子 解説：性悪説に立つ荀子のもとで学んだことが、その法治思想につながった。
- Q82. 答え：李斯 解説：同じ荀子門下でも、こちらは思想家ではなく現実の政治家として活躍した。

Q83. 答え：焚書坑儒 解説：書物を焼く「焚書」は宰相・李斯の進言による。生き埋め（坑儒）は、不老不死をうたう方士への激怒が発端で、儒者もその対象となった。法家による思想統制の例として有名。

Q84. 答え：始皇帝（秦の始皇帝） 解説：李斯らを用いて中央集権を進めた。法家思想を実際の政治に用いた代表。

Q85. 答え：墨家 解説：儒家と激しく対立したが、戦国時代には有力な学派の一つだった。

Q86. 答え：儒家 解説：諸子百家の中で、最終的に最も大きな影響を後世に残した。

Q87. 答え：名家 解説：ことばと実体の関係を論じた点で、論理学的な意義を持つ。

Q88. 答え：陰陽家 解説：鄒衍が代表で、「五徳終始説」によって王朝の交替を説明した。

Q89. 答え：五徳終始説 解説：木・火・土・金・水の五行の移り変わりで王朝交替を説明した。

Q90. 答え：農家 解説：許行が代表で、生産と平等を重んじた。

Q91. 答え：雑家 解説：「雑」は劣る意味ではなく、多くの説を総合した、という意味合い。

Q92. 答え：合従連衡 解説：縦横家の蘇秦・張儀の策に由来する。現代でも比喩的に使われる。

Q93. 答え：孔子 解説：諸国を巡って理想の政治を説いたが用いられず、晩年は教育に専念した。

Q94. 答え：商鞅 解説：信賞必罰を徹底したが、後ろ盾の孝公が死ぬと反対派に倒された。

Q95. 答え：法家 解説：理想より現実を重んじ、秦の天下統一を思想面で支えた。

Q96. 答え：是非の心 解説：四端（惻隱・羞惡・辞讓・是非）の一つ。智につながる。

Q97. 答え：非攻 解説：「攻むるに非ず」と読む。むやみな攻撃戦を否定する立場。

Q98. 答え：老子 解説：「上善は水の如し」など、柔らかさやへりくだりを尊ぶことばで知られる。

Q99. 答え：墨家 解説：戦国時代には大きな勢力をもったが、秦・漢以後にしだいに衰えた。

Q100. 答え：諸子百家 解説：儒家・道家・法家・墨家・兵家・名家・縦横家・陰陽家・農家・雑家などを含む。中国思想の源流。

お疲れさまでした。諸子百家は、「だれが・どの学派で・何を説き・どの著作を残したか」をセットで覚えるのがコツです。とくに〈孟子Ⅱ性善説・四端・王道〉〈荀子Ⅱ性悪説・礼〉〈老子・荘子Ⅱ道・無為自然・万物斉同〉〈韓非子Ⅱ法・術・勢〉〈墨子Ⅱ兼愛・非攻〉〈蘇秦Ⅱ合従／張儀Ⅱ連衡〉は対比で問われやすい重要ポイントです。まちがえた問題は印をつけ、何度もくり返して確実に得点源にしましょう。